

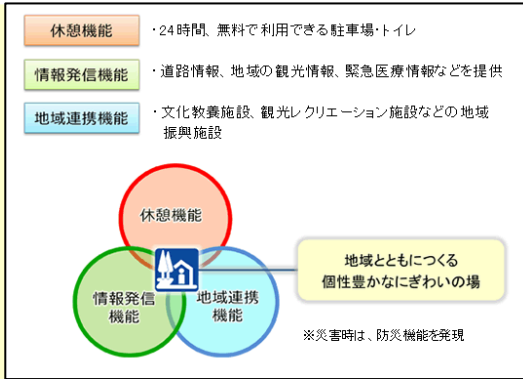
## 1 道の駅とは

[基本計画第1章]

○道の駅は「安全で快適な道路交通環境の提供」「地域振興に寄与」することを目的として平成5年に発足した制度です。

○近年は、道の駅の基本機能(休憩機能、情報発信機能、地域連携機能)に加えて、防災機能を備える道の駅も増えています。

○さらに、地域の創意工夫による様々な取組により道の駅を小さな拠点とした地域活性化なども進められています。



## 2 地域の現状・道の駅の整備目的

[基本計画第2章]

### 【地域の現状】

- ① 人口減少・少子高齢化
- ② 若者の流出
- ③ 地域経済を取り巻く厳しい環境



### 【整備目的】

地域課題に対応しながら、地域の魅力を発信することで、地域住民など多くの人々が交流し、地域経済を活性化して地方創生に繋げる



**将来にわたり持続可能な地域を創る**

## 3 道の駅の目指すもの

[基本計画第2章]

- ① 道路利用者の安全で快適な通行に貢献する  
～盛岡の北の玄関口として、多くの人に、おもてなしの心、安らぎとくつろぎ、疲れを癒すことのできる時間と空間を提供し、安全で快適な通行に貢献～
- ② 地域経済の振興に寄与する  
～食、伝統文化、眺望などの資源を発掘し、磨き上げ、活用し、起業や地域ビジネス育成、雇用創出などで地域経済の振興に寄与～
- ③ 次代を担う人材を育てる  
～若者や女性など様々な人の挑戦を支援し、将来のまちづくりを担う人材の育成を図る～
- ④ 元気な地域をつくる  
～老若男女が集まり交流し活躍し、賑わいと活気のある空間とし、地域文化発信、産業・経済の振興を図り、元気な地域をつくる～
- ⑤ 世界に向けて「盛岡・玉山」を発信する  
～道の駅から、盛岡・玉山を世界に発信する。“おもてなしの心”、“多様な文化”、“自然の魅力”等を伝え「世界につながるまち盛岡」をつくる～

「盛岡・玉山の魅力の発信」・「地域経済の活性化」で、持続可能な地域を創ります

## 4 コンセプト

『道の駅は、私たちの未来を創る希望のステージ』

～石川啄木が愛した盛岡・玉山を感じられる道の駅～ [基本計画第2章]

道の駅を将来にわたり持続可能な地域を創るための手段・ツール・ステージと位置づけ、石川啄木を中核イメージとして活用し、盛岡・玉山を「知って」「見て」「食べて」「買って」「遊び」何度でも訪れたい場所とします

## 5 施設の整備方針

[基本計画第5章]

- ① 安らぎ、くつろぎ、リフレッシュできる道の駅  
自然景観、“魅力”、“おもてなしの心”を満喫し、疲れを癒し、活力を回復できる道の駅
- ② より多くの人々が訪れる、訪れたい道の駅  
地域の人も含め多くの人々が集まりたい、何度でも訪れたい道の駅
- ③ 石川啄木を感じられる道の駅  
石川啄木記念館、旧齊藤家等も含め、啄木を感じられる道の駅
- ④ 様々な人が活躍できる道の駅  
女性、高齢者、障がい者等様々な人が活躍できる道の駅
- ⑤ 市民が主役の道の駅  
市民が主体となって、魅力を創り進化する道の駅
- ⑥ 自立・持続経営可能な道の駅  
持続した経営が可能となる道の駅

## 6 基本戦略

[基本計画第5章]

- ① 徹底した“差別化”  
・道の駅は県内だけでも33箇所ある  
・他の道の駅と様々な面で、“徹底した”差別化戦略をとる
- ② “ニッチ”戦略  
・他の道の駅にない、新しく真似されにくい商品・サービスを提供
- ③ 特徴づけ  
・特徴のある道の駅とするため、専門的知識や経験を踏まえた具体的な戦略を策定する  
(ア) 多くの道の駅を手掛けているアドバイザー等を招聘  
(イ) 将来の経営候補者を早期に選定し計画初期段階から参画

盛岡・玉山らしさ・特徴のある道の駅

## 7 ターゲット

[基本計画第5章]

- ① 国道4号ドライバー・同乗者  
・平成27年4月調査 11,600台  
・国道4号道の駅空白エリア「南47km、北16km」
- ② 車で1時間範囲の居住者  
・地域住民1.2万人、盛岡市民30万人  
・メインターゲットは盛岡市内(都市部)の居住者

道路利用者や市民等のリピーターを確保しながら、魅力創出の拠点化を進め、更なる観光客・利用者層等の誘客に繋がります

## 8 より特徴ある戦略・市場開拓

[基本計画第5章]

- ① 更なるターゲットのフォーカス  
・道の駅の主要利用年齢層 50代以上  
・買物や小旅行先の決定は主に女性(旅行代理店等調べ)  
→ 50代以上(主に女性)に訴求する取組
- ② 子育て世代、20～30代若年層開拓  
・従来の「道の駅」の主要利用者層ではない層を新たな顧客として開拓  
・ベビーコーナー・妊婦優先駐車スペース・キッズコーナーの設置等により子育て世代を支援・応援する道の駅を目指す
- ③ 初期段階では市民をメインターゲットとする  
・初期段階では市民等の交流の場・賑わいの場づくりを進め、道の駅を盛岡・玉山の新たな魅力の創出拠点とする取組を進める  
・創出した魅力を活用し、観光客や地域外の人々を呼び込む

## 9 導入施設

[基本計画第5章]

<b>休憩機能</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場</li> <li>トイレ(清潔感+α)</li> <li>休憩・展望施設</li> </ul>
<b>情報提供機能</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路情報提供施設</li> <li>地域観光情報等提供施設</li> </ul>
<b>地域連携機能</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土料理等のフードコート</li> <li>産直(友好都市等との連携)</li> <li>特産品・土産品売場(任意機能)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>加工施設</li> <li>交流スペース</li> <li>イベント広場</li> <li>石川啄木記念館との連絡路の内容</li> </ul> </li> </ul>
<b>防災機能</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場(道路利用者一時避難)</li> <li>トイレ</li> <li>災害情報提供施設(非常電源)</li> <li>物産・産直(物資供給)</li> </ul>

## 10 今後、管理運営候補者と導入を検討する機能例

[基本計画第5章]

① 若者定住・UIターン機能	起業・就業(事業継承)支援、チャレンジショップ、貸工房
② 石川啄木を感じられる機能	啄木ゆかりの飲食・イベント・ミニ展示、連絡路を活用(歌碑等)、レンタサイクル
③ 関係人口拡大のための機能	わくわくする面白い場所づくり(週末コンサート、移住コミュニティ)
④ 女性・障がい者・高齢者の活躍の場の創出機能	女性等の雇用創出、託児所、子育てサロン、高齢者サロン等
⑤ 文化発信・交流スペース機能	イベント広場、交流スペース、地元商店アンテナショップ、健康相談、軽トラ市、マルシェ(地域市場)、ドッグラン
⑥ 効果的・戦略的情報発信機能	地方で豊かな暮らしや夢を実現したいと考えている人の琴線に触れる情報を積極的に発信
⑦ 子連れで楽しめる空間づくり	ベビー・キッズコーナー、遊具、ピクニック、バーベキュー、家族農園(地元農家指導)、体験(短歌、ピザ焼、そば打等)
⑧ 次世代を担う人材育成機能	チャレンジショップ、貸工房、伝統芸能保存継承、経営参画など
⑨ メインターゲットの琴線に触れる雰囲気・機能	50代以上(主に女性)が好む・感動するもの(景観、花、ハーブ、アロマ、スイーツ、アート感のあるトイレ、音楽など)
⑩ 名誉駅長	地元出身の著名人などを名誉駅長に委嘱

## 11 概算事業費 (国土交通省分含む)

[基本計画第6章]

① 設計費(測量等含む)	約1億2,000万円
② 土木工事費	約3億7,000万円
③ 建築工事費	約7億2,000万円
④ 消費税等(8%)	約9,600万円
<b>概算事業費計</b>	<b>約13億 600万円</b>

## 12 整備・管理運営方式

[基本計画第8章]

- 地域の特色を生かした魅力ある道の駅とするため、地元を中心に経営参画を希望する者を早期に公募し、運営準備組織を設立する。
- 設計段階から運営準備組織の創意工夫を取り入れながら、市が施設整備するとともに、運営準備組織を法人化し、開業後は指定管理者制度により管理運営を行う。
- 市民に自分たちの道の駅として意識をもっていただけよう、道の駅の運営に参加できる仕組みについて検討する。

## 13 スケジュール案

[基本計画第8章]

平成30年度 (2018)	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画案調整(基本計画策定)</li> <li>整備方針検討</li> <li>管理運営候補者公募準備・着手</li> </ul>
平成31年度 (2019)	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本設計(用地取得準備含む)等</li> <li>管理運営候補者公募</li> <li>道の駅準備運営協議会設立</li> <li>特産品開発等着手</li> </ul>
平成32年度 (2020)	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施設計(用地取得関係含む)等</li> <li>管理運営準備</li> <li>産直出荷者組織設立</li> </ul>
平成33年度 (2021)	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備工事</li> <li>管理運営準備</li> <li>指定管理手続準備等</li> </ul>
平成34年度 (2022)	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備工事</li> <li>指定管理手続等</li> </ul>
平成35年度 (2023)	<b>供用開始</b>

## 14 KPI(重要業績評価指標)案

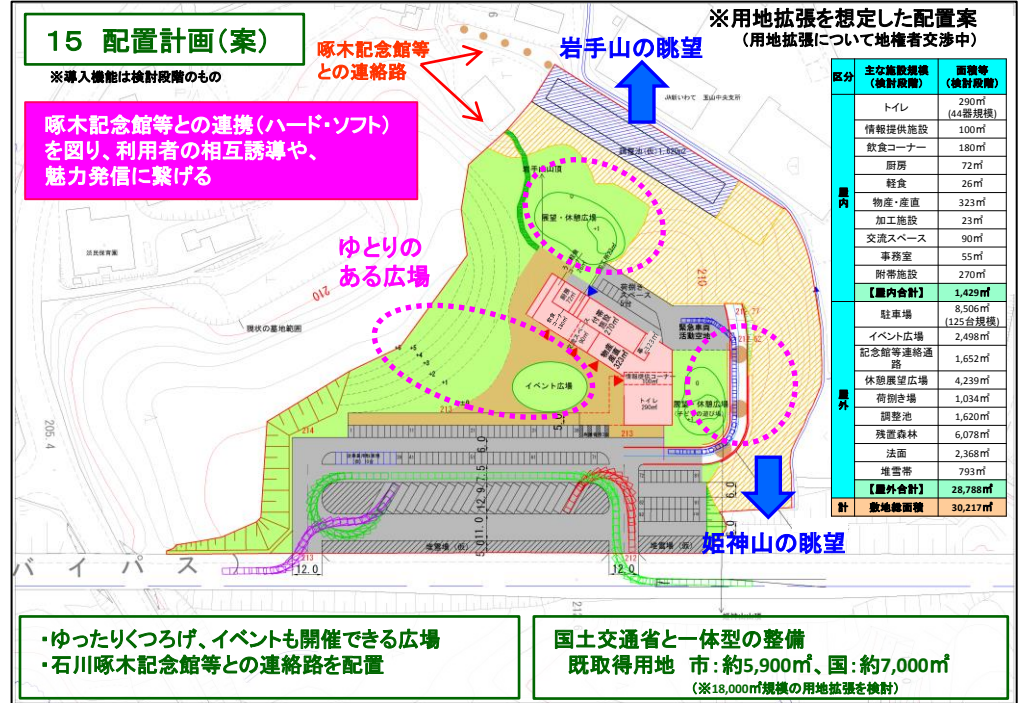
[基本計画第11章]

① 年間来客者数	30万人
② 年間総売上高	2億円

## 15 配置計画(案)

※導入機能は検討段階のもの

啄木記念館等との連携(ハード・ソフト)を図り、利用者の相互誘導や、魅力発信に繋げる



・ゆったりくつろげ、イベントも開催できる広場  
・石川啄木記念館等との連絡路を配置

国土交通省と一体型の整備  
既取得用地 市:約5,900㎡、国:約7,000㎡  
(※18,000㎡規模の用地拡張を検討)

## 16 施設イメージ(案)



地域の方や民間ノウハウを活かした、地域性や魅力のある運営を目指します

民間活力を導入して平成35年度(2023年度)の開業に向け整備を進めます